



「私立大学薬学部「卒業生との情報交換会（説明会）」」に協力

自衛隊東京地方協力本部北地域事務所（所長 西尾3陸佐）は11月10日、板橋区内に所在する私立大学薬学部が実施した「卒業生との情報交換会（説明会）」に協力した。

同大学薬学部は6年制課程であり、病院や薬局などへの就職を志す学生が多く、今回は、自衛隊の薬剤官の魅力やキャリア形式を紹介し、志願促進につなげることを目的に、説明ブースを出展したものである。

当日は、薬学部の3年生から5年生までの学生48名が参加し、同大学卒業生である東部方面総監部医務官室の若生3陸佐が、自衛隊の薬剤官としての勤務経験やキャリアパスについて説明を行い、参加者の多くが女性であったことから、結婚、産休、育休といったライフイベントへの対応についても言及され、学生の関心を集めていた。卒業生による説明ということもあり、会場は終始和やかで親しみやすい雰囲気で行われ、参加した学生からは、「自衛隊の薬剤官の具体的な業務を知ることができて良かった」「海外で活躍する薬剤官の話が特に印象に残った」などの声が寄せられた。

北地域事務所では、今後大と連携し、部隊見学支援や説明会等を通じて、自衛隊に対する理解促進に努めていく。



「可愛い〜！」の音が響く車両基地 多摩モノまつり2025

自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は11月22日、多摩モノール車両基地で開催された「多摩モノまつり2025」において、第1後方支援連隊の支援を受けて広報活動を実施した。

三連休初日、普段は立ち入ることのできない車両基地は、多くの来場者で大いに賑わっていた。

「働く車大集合！」コーナーには、自衛隊のほか、警察、消防、バス会社等が参加して、それぞれの車両を展示し、幅広い年代の「車好き」の来場者が写真撮影や、試乗を楽しもうと長い列を作っていた。

自衛隊は、73式小型トラックを展示し、訓練仕様で偽装網等を取り付けた状態の車両の前では、鉄帽を装着した子供達が元気いっぱいポーズを決めると、周囲から思わず「可愛い〜！」という声が上がった。

立川出張所は、広報ブースを開設し、隊友会立川支部からの支援もいただきながら、装備品パネル展示や射的コーナーで来場者を楽しませた。「東京地本SNSフォロワーで、射的1回体験」と案内すると「フォロワー済みです」「いつも楽しく見ています」と声をかけてくれる人が何人もいて、さらには案内を聞き、その場でフォロワーして投稿動画を楽しそうに閲覧している光景も見られた。

立川出張所は、今後も地域に根ざしたイベントへの参加を通じて、部隊との連携はもとより隊友会等ともタッグを組み、実際の交流やSNSを活用した魅力の発信とともに募集業務に邁進していく。

